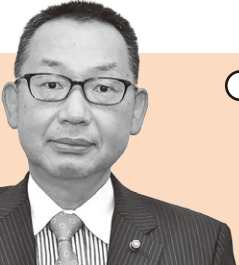


新風会・公明  
下牧 一郎 議員



### ○ 豪雨災害について

※4ページ参照

**議** 8月4日の集中豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

**①** 現地災害対策本部の設置の必要性について

今回の経験から、災害対策本部を市内に立ち上げると同時に「現地災害対策本部」をふれあい会館等に立ち上げ、情報収集をすると同時に市民の皆様の声を聴き、相談にのり、必要な物資や人員の手配をどうすべきかを市内と連絡を密にとりながら早急に対応すべきだったのではと思うが、見解を伺う。

**②** 見舞金の大幅増額について※

新聞報道等で他市の見舞金額が報道されて、当市は比較するとかなり少ないと思う。被災前の生活を取り戻すには、お金がどれだけ必要になるのか見当もつかないというのが切実な問題である。

そこで、現行の金額を大幅に増額すべきだと思いが、見解を伺う。

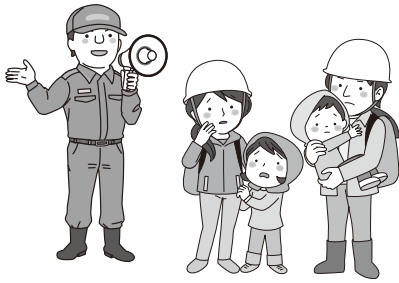
**理** ①大規模な災害が起こった場合、勝山市災害対策本部の設置に連動して被害の大きな地区のまちづくり会館に「地区災害対応支部」を設置

することで、地域住民の避難誘導、地元区長との連絡調整、被災地の被害状況の調査、被災者のニーズ把握などの面で有効であると考えている。

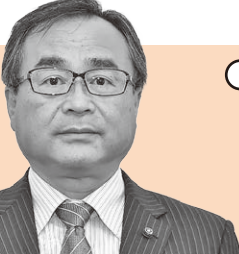
早期に勝山市地域防災計画を改正し、現行の現地対策本部の機能と情報収集機能を包含する地区災害対応支部制度の迅速な設置を行っていく。

**②** 勝山市の災害見舞金は他市と同程度だが、災害対策本部や災害対策室ができた際の追加の規定があり、この点で他市よりも高くなっている。

災害見舞金は、生活再建のための資金というより「お見舞い」という性質である。金額については、社会経済情勢の変化にあわせて検討していく。



日本共産党  
山田 安信 議員



### ○ 中学校を勝山高校の敷地内に建設する計画の問題点と対応について

その他の質問

- ・豪雨災害への対応について
- ・統一教会に関する問題と安倍氏の国葬に国民から反対の声があることについて

**議** ①説明会の発言者の多くは「勝高敷地に建設するのは反対」だが、市長はこの説明会で市民の理解と納得を得たと考えているのか。

教育長は再編準備委員会ですら「現時点では市議会や市民の大多数が反対している状況ではない」と発言したが、それなら、市民の大多数が賛成していると考えているのか。

**②** 説明会だけでなく、再編準備委員が、小・中・高の校舎が離れていても連携できる、地下通路は防犯と防災、安全、安心の問題がある等と指摘したのに、議論も解決もしないで計画案を強行するのは、か。

**③** 9月4日に「中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求め、市民署名」が始まったが、それでも市長と教育長は、勝高の同居型連携に固執するのか。

**④** 以前「市職員や教職員が署名しても、不利益を与えるようなことはしない」と答弁されたが、これは変わっていないか。

**理** ①説明会では延べ200人程度の出席や配信動画1200回を超える視聴回数といった点で、これで全ての市民の理解と納得を得たと考えていない。また、反対意見の他にも支持する声も届いており、それをもって市民の大多数が賛成しているとは言えないが、市の広報やホームページによる情報提供などを通して周知が進んでおり、一定の理解を得られているものと考えている。

**②** 再編準備委員の発言は、議員の指摘に沿った趣旨のものではないと受け止めていない。説明会等での意見は、引き続き協議を重ね、理解を得られるよう進めたい。

**③** これまでの経緯を踏まえて策定した再編計画に基づき、新中学校が魅力ある学校になるよう検討を進めるとともに、その内容を市民に示し、いただいた意見等を踏まえ、より良い方向に進めていきたいと考えていることになりはしない。

**④** 署名は個人の意思でされるもので、指摘されるようなペナルティーが課せられることはない。